

富田林市
こどもの権利条例制定に向けた
多様な学び・生活環境にある
こどもへのヒアリング

【実施報告書】



とんだばやし
こどもの
権利条例

令和7年3月
富田林市

目 次

1. 実施目的.....	1
2. 実施概要.....	1
3. 質問内容.....	2
4. フリースクール.....	3
(1) ヒアリングの進め方.....	3
(2) 意見まとめ.....	5
(3) ヒアリング結果に関する考察.....	7
5. 特別支援学校.....	8
(1) ヒアリングの進め方.....	8
(2) 意見まとめ.....	10
質問シートのまとめ.....	13
(3) ヒアリング結果に関する考察.....	16
6. 小学校の日本語教室.....	17
(1) ヒアリングの進め方.....	17
(2) 意見まとめ.....	19
質問シートのまとめ.....	21
(3) ヒアリング結果に関する考察.....	26
7. 児童養護施設.....	27
(1) ヒアリングの進め方.....	27
(2) 意見まとめ.....	28
(3) ヒアリング結果に関する考察.....	29
8. ヒアリング全体からみられる傾向.....	30

1. 実施目的

富田林市内又は近隣市町村にある、こどもに関係する施設・団体等の協力を得て、多様な学び・生活環境にあるこども※にヒアリングを実施し、こどもの意見表明権の保障機会の1つとするとともに、その意見を把握・分析することにより、富田林市こどもの権利条例制定に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

※「多様な学び・生活環境にあるこども」……声をあげているけれどもその声が聴かれにくい状況にあると考えられる、不登校、障がい、海外につながるのがあるこどもや社会的養護のもとに暮らすこどもなどのこと。

2. 実施概要

No.	対象者	施設・団体	開催方法	人数	実施日時
1	不登校のこども	フリースクール	市職員による対面でのヒアリング	8人	令和7年1月30日
2	知的障がいのあるこども	特別支援学校	市職員による対面でのヒアリング	12人	令和7年2月27日
3	海外につながるのがあるこども	小学校の日本語教室	市職員による対面でのヒアリング	17人	令和7年2月3日
4	社会的養護のもとに暮らすこども	児童養護施設	委託先による「世界子どもの権利かるた」を用いたワークショップ	24人	令和7年2月2日

- 対象者の異なる4つの施設・団体に協力いただきヒアリングを実施しました。
- No.4 児童養護施設へのヒアリングは、幅広い年齢層のこどもの参加を担保するとともに、こどもたちの意見を定性的に分析することを目的に実施した「こどもの権利ワークショップ」の一環として実施しました。
- ヒアリングの進め方（開催方法）については、こどもの状況等に配慮しながら各施設・団体で異なる手法を用いました。
- ヒアリングの質問項目については、本市が令和6年9～11月にかけて実施した「こどもWEBアンケート」の内容に基づき抜粋した項目や、「こどもワークショップ」で収集した意見を参考にしながら設定しました。
- ファシリテーター：(No.1～3) 富田林市こども未来部こども政策課 菖蒲菜津紀
今井良祐
(No.4) 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
中村洋司氏

3. 質問内容

No.	対象者	施設・団体	質問内容
1	不登校のこども	フリースクール	1. どんなときが楽しい？ 2. どんなことに困っている？ 3. 困ったときは誰に相談する？ 4. どんな場所が相談しやすい？ 5. 守られていないと思う子どもの権利は？ 6. 安心できる場所はどこ？ 7. どんな場所があれば嬉しい？ 8. 富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？
2	知的障がいのあるこども	特別支援学校	1. どんなときが楽しい？ 2. どんなことに困っている？ 3. 困ったとき誰に相談する？ 4. どんな場所が相談しやすい？ 5. あなたの安心できる場所はどこ？ 6. どんな場所があれば嬉しい？ 7. 自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？ 8. 富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？
3	海外につながるの あるこども	小学校の 日本語教室	1. どんなことに困っている？ 2. どんな助けがあったら勉強できる？ 3. 自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？ 4. 富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？
4	社会的養護のもと に暮らすこども	児童養護施設	1. 一番心に残ったかるたを選ぼう 2. 自分のオリジナルのかるたを作ろう

4. フリースクール

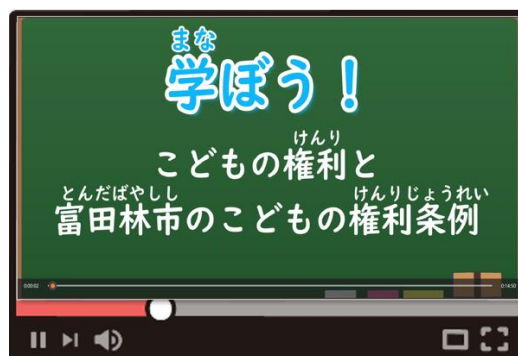
(1) ヒアリングの進め方

①あいさつ・ヒアリング目的の説明

ファシリテーターの市職員から「みんなでつくるこどもの権利条例」をめざして、みんなが思っていること考えていることなど、色々な意見を聴かせてほしいと挨拶をしました。

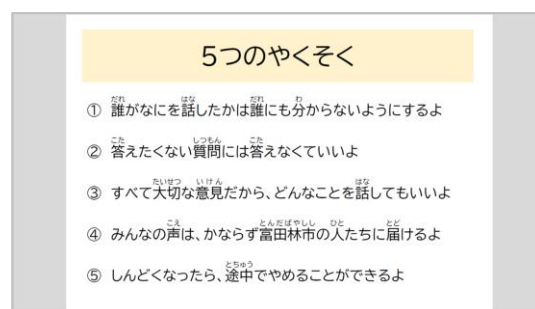
②こどもの権利に関する動画の視聴

こどもの権利について学習することができる動画を視聴しました。



③「5つのやくそく」を説明

こどもたちが安心して意見が言えるように、ヒアリングにおける大人からこどもたちへの約束事について説明しました。



④アイスブレイク

「じゃんけんアンケート」を行い、体を使って楽しみながら「こどもの権利」について知っているかなどを聞きました。



⑤ヒアリング

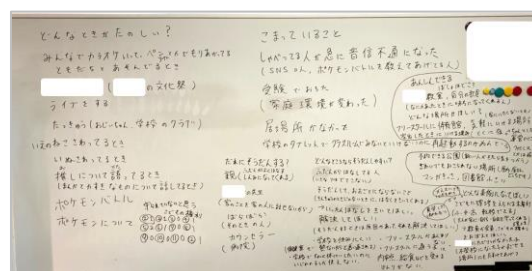
「子どもの権利のこと」、「楽しいこと・困りごと」、「遊び場・居場所のこと」、「意見を言う場のこと」、そして「富田林市で幸せに過ごすために、どんな条例になってほしい?」といった質問に、こどもたちはそれぞれの意見を発表しました。

発表された意見は、ホワイトボードに書き留めていきました。



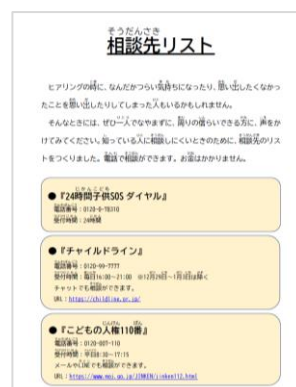
⑥まとめ

たくさん意見を言ってくれたことに感謝の気持ちを伝え、この意見を条例制定に向けた参考にさせてもらうことを説明しました。



⑦相談先の紹介

悩みや辛いことがあったら、ひとりで抱え込まずに誰かに相談してほしいという話と併せて、身近な大人にも相談しにくいようなことがあったときに相談できるところを紹介しました。



⑧終了

(2) 意見まとめ

①どんなときが楽しい？

意見 (8件)

- ・ みんなでカラオケに行って、ペンライトを使って盛り上がっているとき
- ・ 友だちと遊んでいるとき
- ・ フリースクールの文化祭
- ・ ライブをしているとき
- ・ おじいちゃんの家や学校のクラブで卓球をしているとき
- ・ 家の猫(犬)に触っているとき
- ・ 漫画等好きなものなど自分の推しについて語っているとき
- ・ ポケモンバトルをしているときやポケモンについて話しているとき

②どんなことに困っている？

意見 (4件)

- ・ 連絡を取っていた人が急に音信不通になった
- ・ 受験で落ちた
- ・ 家出したときに居場所がなかったこと
- ・ 学校のタブレットを用いて、レポートを見ないといけないが、都度タブレットを再起動するのが面倒(タブレットの性能の不足)

③困ったときは誰に相談する？

意見 (4件)

- ・ 親(普段からよく話す、親身になってくれる)
- ・ フリースクールの先生(家のことを家の人には話せないから)
- ・ 病院のカウンセラー
- ・ その時次第で変わる

④どんな場所が相談しやすい？

意見 (4件)

- ・ 普段から話をしている人(初対面の人にいきなり困ったことある？では出てこない。楽しいことや色んなことを話しているうちに相談できるような、普段から話を聞いてくれている人)
- ・ 相談したことで大ごとにならないところ(解決までしなくても、一旦話を聞いて受け止めてくれるようなところ)
- ・ 解決までしてくれるところ(相談の原因になっているものを解決してほしい)
- ・ その時次第で変わる

⑤守られていないと思うこどもの権利は？

カテゴリ	内容	件数
1. 差別されないこと		1
2. 悪口を言われたり、仲間外れにされたりしないこと		1
3. 命が守られ、成長できること		0
4. 大人がこどもにとって、一番よいことを考えてくれること		1
5. 自分の意見を自由に言えること、大人に意見を聞きいてもらえること		2
6. 叩かれたり、嫌なことをされたりしないこと		1
7. 学校などで勉強ができること		0
8. 休んだり、遊んだりすること		1
9. 自由に考えたり、思ったり、選んだりすること		0
10. 多くの家の仕事をさせられたり、体について嫌なことをされたりしないこと		0
11. こどもの権利を学べること		0
12. 守られていない権利はない		1
その他（補足意見）	・「5. 自分の意見を自由に言えること、大人に意見を聞きいてもらえること」に関して、聞いてはくれるけど改善されるわけではない ・このフリースクールでは、全ての権利が守られている	2

⑥安心できる場所はどこ？

意見（2件）
・フリースクールの教室（何かあったときに味方になってくれる人がいるため） ・自分の部屋

⑦どんな場所があれば嬉しい？

意見（6件）
・フリースクールに体育館、もしくは近くで借りられる体育館のような場所が欲しい（学校には体育館があるが、フリースクールにはない） ・家や学校にいたくない時に気軽に行ける場所 ・家出した時に行ける安心できる場所（きちんとした運営のところがいい。夜に空いている図書館等。） ・予約制の公園（後から他の人が来たら気を遣う） ・騒いでも怒られない場所（屋内・屋外どちらでも） ・漫画喫茶（ゆっくりできるような空間）

⑧富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？

意見（８件）

- ・子どもが環境を選べる権利（小・中・高で転校が可能にする。それを見学して決めることができたり変えたいときに変えられたりすること）
- ・大人が「安心・自信・自由」を守ってくれる環境
- ・教員全員がこどもの権利を覚えてほしい
- ・この教室のような場所に辿り着くことができなかったこどもにも支援を。フリースクールの数も少ない。（不登校になったこどもが過ごせる場所）
- ・フリースクールに通うこどもは学校に通うこどもよりも得られない権利は多い（体育館がなかったり、内申点がなかったり、給食がなかったり）
- ・学校を休みにくい。保健室に行っても熱がないという理由で返される。
- ・学校内で少し休憩したいのにできない。（例えば、１・２限目は教室、３・４限目は休憩、５・６限目に教室に戻るといったような、自分のペースで学校生活ができればうれしい）
- ・こどもの意見を聞いたうえで「反映」させてほしい

（３）ヒアリング結果に関する考察

フリースクールのこどもたちの意見から、「子どもが環境を選べる権利（転校等）」や「自分のペースで学校生活ができれば」といった教育環境に対する意見が多く見られました。

こどもたちが「安心できる場所」としては、フリースクールや自分の部屋など、自分を受け入れてくれる環境が重要であり、さらに、家や学校にいたくない時に気軽に行けて安心できる場所など、緊急時や逃げ場が必要な時の居場所を求めていることが分かりました。

意見を表明することに関しては「聞いてはくれるけど改善されるわけではない」「こどもの意見を聞いたうえで『反映』させてほしい」「相談したことで大ごとにならないところ」「解決までしてくれるところ」というように、相談の結果として期待していることが多様であること、形式的な意見聴取にとどまらず、こどもたちの自己決定を尊重することが重要であることを示唆する回答がありました。

また、こどもたちが相談しやすいと感じる環境は、「普段から話をしている人」という回答にあるように、日常的な信頼関係が前提となっており、単に相談窓口を設けるだけでなく、こどもとの継続的な関係性の中で信頼を築いていくことが重要と言えます。

さいごに、「体育館がなかったり」、「給食がなかったり」というように、フリースクールに通うこどもは学校に通うこどもよりも得られない権利が多いという意見や、守られていないこどもの権利があると感じているこどもたちが存在することがうかがえる回答もありました。

5. 特別支援学校

(1) ヒアリングの進め方

事前の準備

①絵本・動画で学習

ヒアリング当日に向けた準備として、絵本や動画でこどもの権利について事前に学習してくれました。



①質問シートの記入

ヒアリングの際、こどもたちが自分の思いをしっかりと伝えることができるようにと「質問シート」を作成しました。

こどもたちは、思っていることや考えていることをシートに記入し、ヒアリングに向けて準備してくれました。

ヒアリング当日

①あいさつ・ヒアリング目的の説明

ファシリテーターの市職員から「みんなでつくるこどもの権利条例」をめざして、みんなが思っていること考えていることなど、色々な意見を聴かせてほしいと挨拶をしました。

②アイスブレイク

ファシリテーターの市職員と「じゃんけん」や「クイズ」を行いました。

③「5つのやくそく」を説明

こどもたちが安心して意見が言えるように、ヒアリングにおける大人からこどもたちへの約束事について説明しました。

5つのやくそく

- ① どんなことを はなしても いいよ
- ② だれが はなしたか わからないように するよ
- ③ こたえたくない しつもんには こたえなくて いいよ
- ④ みんなのこえは かならず とどけるよ
- ⑤ しんどくなったら とちゅうで やめることが できるよ

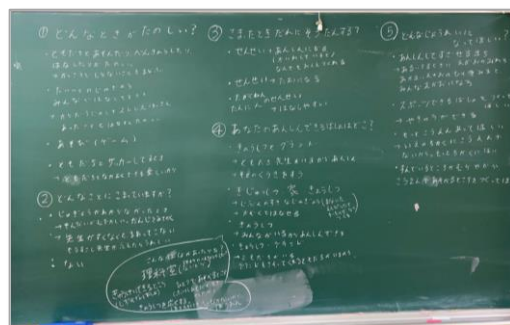
④ヒアリング

事前に作成した質問シートの内容に沿って質問を行い、こどもたちはそれぞれの意見を発表しました。

発表された意見は、黒板に書き留めていきました。

⑤まとめ

たくさん意見を言ってくれたことに感謝の気持ちを伝え、この意見を条例制定に向けた参考にさせていただくことを説明しました。



⑥相談先の紹介

悩みや辛いことがあったら、ひとりで抱え込まずに誰かに相談してほしいという話と併せて、身近な大人にも相談しにくいようなことがあったときに相談できるところを紹介し、ヒアリングを終了しました。

そうだし、できる ところ

おはなしをした ときに、つらいきもちに なったり、おもいだしたく
なかったことを おもいだした ひとも いるかも しれません。

そんなときは ひとりで なやまずに、 している ひとに、 こえを
かけてください。 している ひとに そうだん しにくいときは、 した
のばんぐい に でんわ してください。

でんわで そうだんが できます。 おかねは かかりません。

- 『24じかんこども505ダイヤル』
まんばつごう：0120-9-78310
じかん：24じかん
- 『チャイルドライン』
まんばつごう：0120-99-7777
じかん：いつでも 16:00～21:00 ※12月24日～1月3日はのどく
チャット も さんだん があります。
URL：<https://chil.line.jp/>
- 『こどものじけん110ばん』
FAXダイヤル：0120-98-7878
じかん：いつでも 24じかん 365日フルタイム 年中～17:15
メールやLINEでも さんだん があります。
URL：<https://www.kodomo-jiken.jp/2020/11/18/110.html>

⑦終了

(2) 意見まとめ

※重複する回答もありますが、それぞれ理由が異なるため全ての意見を掲載しています。

①どんなときが楽しい？

意見 (12件)
・アイロンビーズをしているとき（ドット絵を作るのが好きだから） ・ゲーム（ソニックシャドージェネレーションズ） ・遊んでいるとき（なわとびが好きだから） ・遊んでいるとき（友だちと一緒に砂場遊び） ・友だちと遊んだり、勉強したり、話したりが楽しい（学校で知らないことを学べるから） ・体育の授業やみんなで話している時（体を動かしてストレス発散できる、あったことを話すと楽しいから） ・あそび（ゲーム） ・友だちとサッカーをしているとき（友だちと仲良くできるし、楽しいから） ・外でスポーツや遊んでいるとき（スポーツが好きだから） ・友だちと一緒にすごしているとき（笑って一緒にいることができるし、信頼できるから） ・友人と話しているとき、好きなことをしているとき（安心するし、楽しいから） ・楽器を演奏しているとき（盛り上がるから）

②どんなことに困っている？

意見 (3件)
・授業が分からなかったとき（問題が難しい、先生が増えたら嬉しい） ・施設で暮らしているから外で遊べるのが休日 30 分しかない ・人に悩みを言っているのこともやと言われること（信頼しているのに大げさと言われるから）

③困ったとき誰に相談する？

意見 (10件)
・家族、先生、施設の人 ・パパとママ（困ったときに相談するから） ・先生、友だち（優しいから） ・先生（話していると安心できるし、何でも教えてくれるから） ・先生（頼りになるから） ・担任の先生、他学年の先生（話しやすいから） ・好きな先生（話しやすいから） ・こどもの話を聞いてくれる施設の職員（受け入れてくれるから） ・話を聞いてくれる人はいるけど、困りごとには言いにくい ・特にいない

④どんな場所が相談しやすい？

意見（4件）
・自分の部屋（話しやすいから） ・1対1になれるところ（プライバシーが確保されているから） ・時間を作ってくれるところ（安心してゆっくり話せるから） ・病気など支援が必要なこどもが交流して遊べる場所（病気があるこどもにも幸せに過ごす権利があるから）

⑤あなたの安心できる場所はどこ？

意見（12件）
・自宅のリビングルーム（ゆっくりできるから） ・家のリビングルーム（落ち着くから） ・施設（森で風が吹いていて外が気持ちいいから） ・教室とグラウンド（友だちと先生がいるから安心、外の空気を吸うことができるから） ・技術室、教室（自分の好きな授業だから） ・家（家族と話せるから） ・教室（みんながいて安心できるから） ・教室、グラウンド（友だちがいるから、グラウンドにも誘ってくれる友達がいる） ・学校（楽しいから、みんながいるから） ・自分の部屋（いつも変わらないから） ・実家（家族がいて安心するから） ・友だちと一緒にいるとき（楽しいし、盛り上がるから）

⑥どんな場所があれば嬉しい？

意見（11件）
・ショッピングモールが近くにあったらいい（歩いて行けるとところに欲しいから） ・ゲームセンター ・宿（山ばかりで宿がないから） ・理科室（理科の勉強がしたいから） ・休憩できる場所（静かな場所がいいから） ・一人で遊べる場所（ボール遊びが好きだから） ・教室を広くする（声が大きくても響かないから、防音してほしい） ・テーマパーク（USJみたいなところ） ・子ども食堂（1人で行っても友だちや大人とご飯を食べられるし、仲良くなれるから） ・サッカーができる場所（休みの日に公園ではできないから） ・開放感のある場所（外で壁などがなく、自然が揺れるからのんびりすごせる）

⑦自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？

意見（４件）
・ 学校（楽しいから） ・ 自分の部屋（安心するから。他の部屋だと緊張する。オンラインでもいい。） ・ 意見を受け入れてくれるところ（否定されるといいにくいから） ・ 秘密を守ってくれるところ（安心して話せるから）

⑧富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？

意見（１２件）
・ 平和になってほしい（戦争をやめてほしいから） ・ 約束（大人がこどもの話を聞かないといけないとダメだよというのを約束してほしいから） ・ 嫌なことはしないでほしい（グループの時に嫌なことを言うてくる） ・ 安心して過ごせるまち（歩いているときに笑顔が見れるし、明るい笑顔の人を見るとみんな笑顔になるから） ・ スポーツできる場所を作ってほしい（野球ができるから） ・ もっと公園があってほしい（家の近くに公園がなく、もっと近くに欲しいから） ・ 住んでいるところに公園や遊べるところを作ってほしい ・ もっとスポーツや好きなことができるようになってほしい（施設でスポーツをする機会がないから） ・ 広い公園を増やしてほしい（たくさん運動したいから、施設ではできない） ・ みんなの意見に基づいて作る条例（みんな幸せになるから） ・ 悩みで困っている人が楽しく過ごして自殺がなくなるような条例（ニュースで聞いて胸が痛くなるから） ・ 障がいのあるこどもでもアルバイトの面接などで配慮してもらえるような条例

質問シートのまとめ

特別支援学校におけるヒアリングでは、13名の子どもたちが事前に「質問シート」を記入してくれました。

「質問シート」に記載された内容についても、子どもたちの意見として、以下のとおり報告します。

※重複する回答もありますが、それぞれ理由が異なるため全ての意見を掲載しています。

※ヒアリング時の発言内容と一部重複するものもあります

①どんなときが楽しい？

意見（理由）
・ アイロンビーズ ・ あそんでいるときがたのしい ・ ともだちとあそぶ ・ ごはん ・ 友だちとあそんだり、べんきょうしたり、話すときがたのしい（学校でしらないことをまなぶときがたのしいです） ・ 体育の授業をしているとき（体を動かすのが好きだから、ストレスはっさんになるから） ・ みんなとお昼休みお話しているとき（あった出来事をみんなと話すのが楽しいから） ・ 友だちとあそんだり話をしているときが楽しい ・ 遊びがたのしいです ・ みんなとサッカーしているとき（あそべるから） ・ 外でスポーツや自由に遊んでいる時（うんどうが好きだから） ・ 好きな先生と話している時 ・ 友人と話している時です（安心するし、楽しい） ・ 自分の好きなことをしているときも楽しいです ・ お友達と一緒に過ごしているときです（そのお友達といつも笑ってすごしているから、とても信頼しているからです） ・ 楽器を演奏している時（みんなと一緒に盛り上げたいから）

②どんなことに困っている？

意見（理由）
・ おにいちゃんにあいたい ・ じゅぎょうでわからないときどうしよう（先生がいそがしそう） ・ 放デイが楽しくない（体のことをいじめられるから、悪口をいわれるから） ・ うまく会話ができる友達がいない（話している内容が分からない子がいるから） ・ 私はしせつでくらしているので外で遊べる時間が休日の昼 30 分だけなのがしんどい（もっとうんどうしたいから）

- ・特に感じていません（周りの方が手厚く支援してくれるからです）
- ・人に悩みを言っても「いつものことや！心配せんでいい」って言われること（しんらいしているのに、おおげさって思われること）

③困ったときは誰に相談する？

意見（理由）
・大人（かぞく・せんせい） ・大人（パパ・ママ） ・ママ ・先生にそうだんする（あんしんになれる） ・担任 ・学年しゅにん（学年の先生の中で1番話しやすい先生だから） ・放デイの相談支援の先生（ほとんど毎日かかわっているから） ・家族（1番身近にいるから） ・先生、家族にそうだんする ・こまったら先生にいいましょ ・担任の先生（はなしやすいから） ・他学年の先生 ・好きな先生（好きな先生だから話しやすい） ・信頼できる大人です（受け入れてくれるし、共感してくれるからです） ・今は話せる人がいません ・いない（きいてくれる人もいるけど、なんか言いづらいことなどが言えないから）

④どんな場所が相談しやすい？

意見（理由）
・相談に乗ってくれる人と1対1になれる所です（プライバシーが確保されているからです） ・自分のへや（リラックスできるから） ・時間を作ってくれるとこ（安心してゆっくり話せるから）

⑤あなたの安心できる場所はどこ？

意見（理由）
・じたくのリビングルーム ・家リビングルーム ・入所している施設 ・そと ・いえ ・きょうしつ（きょうしつは友だちや先生がいるからあんしんしていれます） ・グラウンド ・技術室（木工の授業が好きだから）

- ・ 家（家族とお話してできるから）
- ・ 教室
- ・ 家
- ・ きょうしつがあんしんできる
- ・ 教室（友だちがいるから）
- ・ 学校（楽しいから）
- ・ 実家です（家族がいて安心するからです）
- ・ 自分のへやです（いつもと変りないから）
- ・ 友達と一緒にいる時（楽しいから盛り上がる）

⑥自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？

意見（理由）

- ・ 学校（学校は楽しいから）
- ・ 意見を受け入れてくれる場所です（否定されると言えないからです）
- ・ 自分のへやです（他のへやだときんちょうします）
- ・ 秘密を守ってくれる（安心して話せる）

⑦富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？

意見（理由）

- ・ へいわになってほしい
- ・ やくそく
- ・ いやなことをいわないでほしい
- ・ ニコ（にこにこ）
- ・ あんしんしてすごせる町になってほしい（みんなのえがおがみれるから）
- ・ みんなのいけんをきく
- ・ スポーツのばしょ作ってほしいです。みんながひまなったらからだをうごかす。
- ・ すごしやすい街にしてほしい
- ・ スポーツや好きな事ができるようになってほしい
- ・ 皆の意見にもとづいて作られている条例が良いです（皆が幸せになるからです）
- ・ こうえんふやしてほしいです（沢山うんどうしたいから）
- ・ もっと悩みとかで困っていたり、限界な人が自殺とかせず楽しい人生をおくってほしい（ニュースとかで自殺とかでてきてむねが痛くなるから）
- ・ 病気の子供たちが交流できて遊べる場所があったらいいなと思います。（病気の子供たちにも幸せになる権利があると思うからです。そして僕たち私たち以外にも同じ病気がある子たちがいると安心できると思いますし楽しいとも思えると思います。）

(3) ヒアリング結果に関する考察

特別支援学校のこどもたちの楽しいこととして「友だちと遊ぶ」「友だちと話す」「友だちと一緒にすごす」という意見が多く見られ、安心できる場所についても「友だちがいる」「先生がいる」といった人との関わりに関することが重視されていることがわかりました。

また、困った時の相談相手として「先生」「大人」をあげる声が多く、その理由は「信頼できるから」「話しやすいから」「受け入れてくれるから」といったものであり、日常的な関係性が重要であることがわかります。

また、「大人がこどもの話を聞く」「みんなの意見に基づいて作る条例」という意見から、こどもたちは自分の意見を言い、それを受け止めてくれることを求めています。

こどもたちが意見を言いやすい場所として「意見を受け入れてくれる」「秘密を守ってくれる」という点があげられており、安心して意見を言うことができる環境の重要性を示しています。また、相談しやすい場所として「1対1になれるところ」「時間を作ってくれるところ」という回答からも、じっくりと話を聴いてもらいたいこともうかがえます。

他にも、施設のルールに関することや「スポーツができる場所が欲しい」「近くに公園が欲しい」といった自由に活動できる場所と機会を望む意見もありました。

6. 小学校の日本語教室

(1) ヒアリングの進め方

事前の準備

ヒアリングの際、こどもたちが自分の思いをしっかりと伝えることができるようにと「質問シート」を作成しました。

こどもたちは、思っていることや考えていることをシートに記入し、ヒアリングに向けて準備してくれました。

ヒアリング当日

①あいさつ・ヒアリング目的の説明

ファシリテーターの市職員から「みんなでつくるこどもの権利条例」をめざして、みんなが思っていること考えていることなど、色々な意見を聴かせてほしいと挨拶をしました。

②アイスブレイク

ファシリテーターの市職員と「じゃんけん」を行いました。最後まで勝ち残ったこどもは自身につながりのある国のじゃんけんを発表してもらい、みんなで共有しました。

③「5つのやくそく」を説明

こどもたちが安心して意見が言えるように、ヒアリングにおける大人からこどもたちへの約束事について説明しました。

5つのやくそく

- ① どんなことを はなしても いいよ
- ② だれが はなしたか わからないように するよ
- ③ こたえたくない しつもんには こたえなくて いいよ
- ④ みんなのこえは かならず とどけるよ
- ⑤ しんどくなったら とちゅうで やめることが できるよ

④ヒアリング

事前に作成した質問シートの中から、

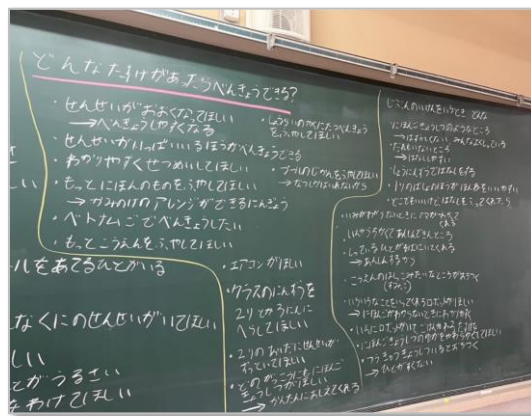
- ・「どんなことに困っている？」
- ・「どんな助けがあったら勉強できる？」
- ・「自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？」
- ・「富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？」

といった質問を行い、子どもたちはそれぞれの意見を発表しました。

発表された意見は、黒板に書き留めていきました。

⑤まとめ

たくさん意見を言ってくれたことに感謝の気持ちを伝え、この意見を条例制定に向けた参考にさせてもらうことを説明しました。



⑥相談先の紹介

悩みや辛いことがあったら、ひとりで抱え込まずに誰かに相談してほしいという話と併せて、身近な大人にも相談しにくいようなことがあったときに相談できる場所を紹介し、ヒアリングを終了しました。

⑦終了

(2) 意見まとめ

①どんなことに困っている？

意見 (9件)

- ・ 国語の意味がわからないから先生を増やしてほしい
- ・ たくさん難しい言葉があるときは、もっと簡単な言葉がうれしい
- ・ 家と学校が遠い、もっと早く行きたい
- ・ 近くの公園のフェンスにボールを当てる人がいる
- ・ 日本語教室にベトナムとかいろんな国の先生がいてほしい
- ・ 日本語教室にエアコンがほしい
- ・ 宿題をしている時に周りの人が気になるから、宿題の部屋と遊ぶ部屋を分けてほしい
- ・ 机を増やしてほしい
- ・ 教室を広くしたい

②どんな助けがあったら勉強できる？

意見 (12件)

- ・ 先生が多くなってほしい
- ・ 先生がいっぱいいる方が勉強できる
- ・ わかりやすく説明してほしい
- ・ もっと日本のものを増やしてほしい (髪の毛のアレンジができる日本の人形)
- ・ ベトナム語で勉強したい
- ・ もっと公園を増やしてほしい
- ・ エアコンが欲しい
- ・ クラスの人数を 2 人や 3 人に減らしてほしい
- ・ 2 人の間に先生がずっといてほしい
- ・ どの学校にも日本語教室が欲しい (わかりやすく教えてくれるから)
- ・ 将来の役に立つ勉強を増やしてほしい
- ・ プールの時間を増やしてほしい (夏しか入れないから)

③自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？

意見 (13件)

- ・日本語教室のようなところ (恥ずかしくない、みんなよく知っているから)
- ・誰もいないところ (話しやすいから)
- ・少人数で話をする
- ・1人の場所の方が本音を言いやすい
- ・どこでもいいけど、話しを振ってくれたら
- ・意味が分からない時にママがわかってくれる
- ・家から近くて安心できるところ
- ・知っている人がそばにいてくれる (安心するから)
- ・公園の端っこ (隅っこ) みたいなところが落ち着く
- ・色々なことを言ってくれるロボットが欲しい (日本語がわからないときにきく)
- ・家にロボットがいてご飯や寝る助けをしてほしい
- ・日本語教室の床を柔らかくしてほしい
- ・通級教室にいと落ち着く (人が少ないから)

④富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？

意見 (13件)

- ・ご飯のない人が食べるところ (かわいそうだから)
- ・こどもが困ったことを大人に伝えることを手伝ってくれる人がいる
- ・いつでも行ける場所 (一人ぼっちはいやだから)
- ・人のものは盗まない
- ・色々な世界の人、障がいのある人が給食の時間に交流できれば良い (差別がなくなるから)
- ・差別なしに平等に守られたい (平等に暮らしたいから)
- ・色々な学校の友達と遊べる
- ・ものを安くしてほしい (お金が無くなるから)
- ・一緒に遊んでくれる人
- ・不自由な人や外国の人を助ける (そうすれば仲良くなれるから)
- ・差別をしない (平和になるから)
- ・病院でお金を払わなくていい (事故や災害で怪我をしたかったわけではないから)
- ・駅に危ない物を持って入れないようにする

質問シートのまとめ

日本語教室におけるヒアリングでは、17名の子どもたちが事前に「質問シート」を記入してくれましたが、ヒアリング当日は時間の都合上、特に聞きたい設問について重点的に実施しました。

「質問シート」に記載された内容についても、子どもたちの意見として、以下のとおり報告します。

※重複する回答もありますが、それぞれ理由が異なるため全ての意見を掲載しています。

※ヒアリング時の発言内容と一部重複するものもあります

①どんなときが楽しい？

意見（理由）
・ベトナムが楽しかった（公園に魚がいて、えさをあげたりした） ・今、日本で長い滑り台がある公園で遊ぶとき ・クラスの友達と遊んでいるとき ・休み時間、昼休み ・家で漢字をするとき（きれいに書くのが面白い） ・海や川で遊ぶ ・遊んでいるとき（みんなで遊べるから） ・友だちと遊ぶとき（鬼ごっこができるから） ・家族と遊ぶ（仕事で忙しいから） ・家でおもちゃで一人で遊ぶ（一人で遊ぶとケンカがない） ・みんなが集まって一緒に遊んでいるとき（みんなと楽しめるから） ・学校（みんながいるしみんなと勉強するのが楽しいから） ・遊ぶ時（自然と笑顔になれる） ・テストでいい点がとれたとき ・元気で走るとき（おにごっこが好きになったから） ・友達と会うとき（友達といっぱい遊べるから） ・好きなことしてたら楽しい（好きなことだから） ・体を動かすと楽しい（寒い時にやったら体があたたかくなる） ・テストでいい点がとれたとき ・休みの日にゆっくりしている時

②どんなことに困っている？

意見（どんな助けがあるといいか）
・ 家と学校が遠い、もっと早くいきたい（家から日本語教室のある学校を近くしてほしい） ・ 先生の話が分からない時がある（わからなくても「ハイ」と答える） ・ 家で勉強しなさいと言われる（あまり言わないでほしい。自分でできる。） ・ 国語の意味が分かりにくい（先生を増やしてほしい） ・ 友だちにいじわるされる（先生が気づく） ・ ない（小学校に来て日本語を勉強できる） ・ 困ってはない ・ 母のお手伝いばぱっと済む。そして、いっぱい話す（妹も助けてほしい） ・ ぞう公園のフェンスを当ててくること（やらなかったらうれしい） ・ 日本語が難しい ・ たくさん難しい言葉があった（もっと簡単な言葉があったらうれしい） ・ 学校で友達に話しかけられない（話すトレーニングをしてほしい） ・ 先生や友達の話がわからないことがある。 ・ 先生がときどきこわい ・ 給食が苦手 ・ 苦手な子がいる ・ 教室が騒がしいことがある

③困ったときは誰に相談する？

意見（理由）
・ 先生、お母さん（わかるようになる） ・ 先生（すぐに助けてくれるから） ・ 家族と先生（言わなあかん） ・ 先生、家族（安心する） ・ 友だち（わかってくれるから） ・ お母さんとパパ（家で困ったら、先生や友達がいらない） ・ 先生（わかりやすい） ・ 先生、母父、みんな、警察、色々周りにいる人（相談したら嫌な思いがなくなるから） ・ お母さん（お母さんだと安心するから） ・ 友達、親友（信頼していて「たしかに」ってなるときあるから） ・ お母さん ・ 先生と友達（知っていることが多いから） ・ 友達、先生（話しやすいから） ・ 信用する人（わかってくれている） ・ ママに相談する（いつも一緒にいるから） ・ 友達 ・ 学校の先生

④どんな場所が相談しやすい？

意見（理由）
・ 日本語教室（話してて勉強するから） ・ 人がいないところ（内緒にしてほしいことがあるから） ・ ママの近く（安心） ・ 先生と自分だけ（聞かれるのがいや） ・ 公園（誰もおらんから） ・ 日本語教室（先生がいるから） ・ 小さい部屋（みんなが来ることないから） ・ みんながいないし、ちょっと、音もある部屋（集中ができるから） ・ みんながいないし広いところがいい（人がいると自分が思っていることがうまく言えない） ・ みんながいない静かな場所（うるさくなったら、ちょっと言いにくい） ・ 自分の家 ・ 人がいない静かな場所（話しやすい） ・ 先生やったら一人で話す ・ 友達やったら一人で話す ・ 人が少ないところ（安心する） ・ 手紙（頭を合わせながら） ・ 静かで落ち着けるところ ・ 人目を気にせず話せるところ

⑤どんな助けがあったら勉強できる？

意見（理由）
・ 先生たちにベトナム語を教える人がいたら、僕も話せる（よくわかるようになるから） ・ エアコンが欲しい（暑い時に使える） ・ 先生が多くなってほしい ・ 先生がいっぱいいる（わからないときにすぐ助けてくれる） ・ エアコン（暑い時に必要やから） ・ 人形遊びができるようにもっと日本のものを置いてほしい（家は買わないといけない） ・ 自然が多くて、子供二人の真ん中に、先生がいて、先生をもっと増やしてほしい（わからないとき、すぐに教えてくれるかもしれんし、いっぱい勉強できるから） ・ こども二人の間に先生がいたらいい（だって、たまに手を挙げててもあててくれないから） ・ あったかかったり涼しい場所（学校の教室の全部エアコンを付ける）（無いと暑かったり寒くて集中できないから） ・ スポーツ（できるところを増やす） ・ 日本語教室（外国の人が多いし人が少ない、簡単めに教えてくれる） ・ エアコンを付けてほしい（夏は暑いから熱中症にならない） ・ 静かにしたい（集中できる）

- ・教室の人数を減らしたい（集中できないから）
- ・将来の役に立つ勉強を増やす
- ・学校の規則を良くする
- ・建物を良くする
- ・いじめをなくす

⑥安心できる場所はどこ？

意見（理由）
・おうち、学校（楽しいから、ぬりえ（おうち）、おにごっこ（学校）） ・学童（先生が優しいから、勉強しなくていいから、おやつが食べられるから） ・ママのおなかの中 ・自分の部屋（誰もおらないから） ・家（自分の家だから） ・家（自分の家だから） ・教室（人が多いから、ワイワイ楽しいから） ・家の自分の部屋で母と父と妹がいて話す（めちゃくちゃ落ち着いて、家族と落ち着くから） ・林とか、小鳥がいっぱい鳴いている広い草原がいい、動物も（日向ぼっこができるから） ・リビング（リビングは家族みんないるから） ・ベッド（ベッドはあったかいから） ・自分の家 ・リビング、家、日本語教室（どちらも静かだから） ・教室（友達がいっぱいおるから） ・家（家族） ・きらきら、どんぐり（人が少ないから） ・祖父母の家（ベトナム） ・学校の教室、他の教室 ・公園

⑦どんな場所があれば嬉しい？

意見（理由）
・全部の学校に日本語教室があったらいい（家の近くにあったら歩いて行けるから） ・外で遊べるところ ・一つの国、一つの地球（ケンカとかなかった方がいい） ・ものを安くしてくれるところ（お金がなくなる） ・ゲームができるところ（色んなゲームをしてみんなで遊べるから） ・もっとブランコが欲しい（楽しめるから） ・もっと公園が欲しい（遊べるから） ・大きな滑り台がある場所（車とか無いから近くに楽しい場所がない） ・物をもっと安くして、おすすめもいっぱいにして、戦争をなくしてほしい（地球を落ち着い

て、みんなが楽しめるから)

- ・ もうちょっと、広い草原がいい (自然がないから)
- ・ 遊ぶものが多い所がいい (なんでも遊べるから飽きない)
- ・ 危ない場所を減らす
- ・ 遊び道具があって広いところ (色んな遊びできるから)
- ・ 遊具 (いろんな人が遊べるから)
- ・ 道路で危ない場所を減らす
- ・ 友達と遊んだり勉強できる場所を増やす

⑧自分の意見を言う時、どんなところだったら言いやすい？

意見 (理由)

- ・ 聞いてくれる人がいたらいい
- ・ 日本語教室のようなところ (恥ずかしくない、みんなよく知っているから)
- ・ 意味が分からない時にママが日本語を分かってほしい (意味が分からなかったら勉強するのが難しい)
- ・ 色んな言葉を言ってくれるロボット (日本語わからないときにわかりやすくなる)
- ・ 端っこの公園 (誰もおらんから)
- ・ 誰もいないところ (話をしやすい)
- ・ 学校の中にあったら言いやすい (わかりやすく言ってくれる)
- ・ いっぱい知っていて、わからないときは、教えてくれて、注意をしてくれる (いい地球になるから)
- ・ みんながいて言いにくいから三人がいい (だって、三人だと言いやすいから)
- ・ 何でも話せるロボットがいい
- ・ どこでも OK かな、話をふってくれたらなんでも言うかな (言いやすいからいいかな)
- ・ 少人数で話をする
- ・ 近くて難しい言葉じゃない (話しやすい)
- ・ 誰もいない教室 (話しやすいから)
- ・ 一人 (安心する)
- ・ 一人の場所 (落ち着くから)
- ・ 安心できる雰囲気
- ・ 少人数
- ・ 家から近いところ

⑨富田林市で幸せにすごすために、どんな条例になってほしい？

意見 (理由)

- ・ お店 (薬屋、スーパー) を家の近くに作る (すぐに行ける)
- ・ 色んな学校の友達と遊べる (楽しそうだから)
- ・ しんどいときがないほうがいい (しんどかったら咳するの面倒くさい)
- ・ みんなにやさしい (やさしい方がいいから)

- ・遊ぶところを増やしてほしい
- ・一緒に遊んでくれるところ（元気になるから）
- ・ご飯ない人が食べるところ、お金をはらわない（かわいそうだから）
- ・先生がたくさん増えてほしい（わからないことをすぐ教えてもらえる）
- ・日本全体にロボットが20～30体がいって、悪い人を捕まえたりするロボットがいる（そうしたら一人一人安心できるから）
- ・ゴミを捨てない
- ・困っていたときに絶対助ける（だって、困っていると自分からうまく言えないけど、勝手に聞かれると言やすい）
- ・夜とかにあんまりピンポンしたり話を小さくする（赤ちゃんや近所に迷惑）
- ・わからない
- ・不自由な人や外国の人みんなを助ける（仲良くなれるから）
- ・差別をしない（いろんな人が平和になるから）
- ・差別なしに平等に守られたい（平等に暮らしたい）
- ・いろんな人の文化や違いを知る（知ったほうが差別とかがなくなると思ったから）
- ・子供たちが「こどものけんり」について学ぶ
- ・困った時に相談できるところがある
- ・近くに遊びに行けて、話を聞いてくれるところがある
- ・子供が困ったことや大人に伝えたいことを伝える手伝いをしてくれる人がいる

（３）ヒアリング結果に関する考察

日本語教室のこどもたちからは、「国語の意味がわからない」「難しい言葉があるときは、もっと簡単な言葉がうれしい」といった日本での学習における困難さを示した意見や、「先生を増やしてほしい」「クラスの人数を2人や3人に減らしてほしい」「2人の間に先生がずっといてほしい」といった学習のサポートに関する意見が多く見られました。これらは、学習の過程で一人ひとりに合わせたきめ細かいサポートが特に重要であることを示していると考えられます。

意見表明に関する回答からは、「日本語教室のようなところ」「少人数」「知っている人がそばにいる」といった環境に関することが挙げられており、言語の不安を抱えるこどもたちが、自分の意見を言うためには「安心感」が重要な要素であることがわかります。

また、「差別なしに平等に守られたい」「色々な世界の人、障がいのある人が給食の時間に交流できれば良い」「不自由な人や外国の人を助ける」など、こどもたちは差別のない社会、多様性を認め合う社会を望む意見がありました。

さいごに、エアコンの設置を望む回答が複数ありました。

7. 児童養護施設

(1) ヒアリングの進め方

①開会とワークショップのルール説明

ファシリテーターより「みんなでつくるこどもの権利条例」をめざしていろんな意見を聴かせてほしいこと、ワークショップにおけるルールを説明しました。

②こどもの権利について

「すべてのこどもは大切な存在であること」「すべてのこどもはおとなと同じ、ひとりの人として『権利』をもっていること」「『権利』は人が生きるために生れたときからもっている大事なもの」であることを伝えました。

③「世界の子ども権利かるた」の実施

「世界の子ども権利かるた」を活用し、遊びながら、楽しく子どもの権利を学ぶワークショップを実施しました。

④かるたとこどもの権利の関係について

かるたとりをしたあと、絵札と読み札を見ながら、かるたとこどもの権利の関係について確認を行いました。

⑤一番心に残ったかるたを考える

確認したかるたの中から「一番心に残ったかるた」を付箋紙に書き、模造紙に貼りました。

⑥自分のオリジナルかるた作成

かるたとこどもの権利の関係をふまえて、こどもたち自身でオリジナルかるたを作成しました。

⑦閉会

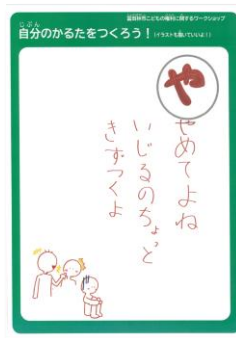
(2) 意見まとめ

一番心に残ったかるた（件数表示以外は各1件）

- ありのままの 自分をみとめてほしい [2件]
（第3条 子どもの最善の利益）（第8条 アイデンティティの権利）
- いのちを大切に 自分を傷つけたくなくなったら話してみて
（第6条 生きる権利）（第39 心の傷から回復するためにケアを受ける権利）
- えらぶ自由 子どもにだってある（第12条 意見を表明する権利）
- おとなと子ども どっちが上でも下でもないよね（第12条 意見を表明する権利）
- 給食食べ終わるまで 昼休みなし 悲しいよ [2件]
（第3条 子どもの最善の利益）
- さわらないで ここは私の 大切なところ（第34条 性的虐待・性的搾取から守られる権利）
- しりたい 考えたい いろいろな道があること（第17条 適切な情報にアクセスする権利）
- 好きって気持ち みとめてほしい 男どうし女どうしても
（第2条 差別されない権利）（第24条 健康に生きる権利）
- 性の話 きちんと教えて はぐらかさないで（第28条 教育を受ける権利）
- そんなにいるの？ 世界で3億5600万人の 貧しい子どもたち
（第26条 国から社会保障を受ける権利）（第27条 十分な生活水準を得られる権利）
- たすけてって 誰でも言って いいんだよ
（第19条 親から暴力を受けない権利）（第26条 国から社会保障を受ける権利）（第34条 性的虐待・性的搾取から守られる権利）
- ちがう肌の色をしてる子も 一緒に遊ぼう 学び合おう（第2条 差別されない権利）
- ついてけない 日本語の授業 難しい（第28条 教育を受ける権利）
- 手伝い 家事 女の子がさせられることが多いよね？（第2条 差別されない権利）
- なんでも相談してみよう ひとりで悩まなくてもいいんだよ（第24条 健康に生きる権利）
- 逃げたっていい 逃げることも大切（第24条 健康に生きる権利）
- ノーって言うてもいいんだよ いやなときは（第12条 意見を表明する権利）
- 早すぎる 13歳で結婚させられる子ども たくさんいるの？
（第24条 健康に生きる権利）（第28条 教育を受ける権利）
- 無視しないで それが一番傷つくよ（第24条 健康に生きる権利）
- 料理・洗濯・皿洗い 男の子が手伝うのも もうあたりまえ（第2条 差別されない権利）
- ルールって みんなで決めるものだよ [3件]
（第12条 意見を表明する権利）
- レゴもミニカーも 女の子が遊んだって いいんだよ（第2条 差別されない権利）

自分（オリジナル）のかるた

- おとなでも こどもと同じ人間だ
- やめてよね いじるのちょっときずつくよ
- はやくかえってゲームしたい
- いらいらするのは いややからやめてほしい
- あいさつをしよう「みんな」で
- おもいあおう「いきもの」を
- みんなでなくそう「いじめ」を
- げーむのさ楽しさしろう大人たち
- うんこぐらいゆっくりさせてよ
- はげしいゆきのクリスマス
- もんくを言うな うるさいからだまってね
- こどもやからって なんでもいうこと聞きたくない



(3) ヒアリング結果に関する考察

児童養護施設のこどもたちは、心に残ったかるたとして子どもの権利条約「第2条 差別されない権利」「第12条 意見を表明する権利」「第24条 健康に生きる権利」に関連したかるたを多く選びました。

具体的には、「たすけてって 誰でも言って いいんだよ」「逃げたっていい 逃げることも大切」といった自分の身体や心を守る内容のかるたであり、これらから、困ったときの助けを求めることの重要性に共感していることがわかります。

また、「えらぶ自由 子どもにだってある」、「ルールって みんなで決めるものだよね」といったような、自分の意見を表明する権利に関するかるたを選んだことは、こどもたちが日常生活の中で自分の意見が尊重されることの重要性を感じているということが考えられます。

さらに、「ちがう肌の色をしてる子も 一緒に遊ぼう 学び合おう」や「手伝い 家事 女の子がさせられることが多いよね?」といった、性別や文化的背景による差別に関するかるたも多く選ばれており、こどもたちが平等な扱いを求めていることを示していることもうかがえました。

8. ヒアリング全体からみられる傾向

本調査では、フリースクール、特別支援学校、日本語教室、児童養護施設の4つの施設・団体において、多様な学び・生活環境にあるこどもの意見を聞きました。得られた意見からは、共通するこどもたちの思いや、各施設・団体固有のニーズがわかりました。

1. 安心できる居場所の確保と人間関係の重要性

すべての施設・団体のこどもに共通して、「安心できる場所」を求める意見が多く見られました。フリースクールでは「家や学校にいたくない時に気軽に行ける場所」、特別支援学校では「友だちがいる」「先生がいる」場所が安心できるという意見が多くありました。また、児童養護施設では「たすけてって 誰でも言っ いて いいんだよ」「逃げたっていい 逃げることも大切」といったかるたに共感したことからも、安心できる環境の重要性がうかがえます。

注目すべきは、単に物理的な場所だけでなく、そこにいる「人」との関係性が大きな意味を持っていることが感じられる点です。信頼できる友人や大人の存在が、こどもたちにとって安心を感じる要因となっており、日常的な関係性の構築が重要であると考えられます。

2. 意見表明の保障の重要性

こどもたちは、自分の意見を表明する機会と、それが実際に反映されることを望んでいることがわかりました。フリースクールでは「聞いてはくれるけど改善されるわけではない」という意見、特別支援学校では「大人がこどもの話を聞く」といった、大人の受け入れ態勢についての意見がありました。日本語教室では、安心して意見を言うためには「少人数」「知っている人がそばにいる」環境が必要であるとの意見があり、児童養護施設では「えらぶ自由 子どもにだってある」「ルールって みんなで決めるものだよ」という意見表明に関連するかるたに多く共感を示しました。

また、本ヒアリングを実施する際、こどもたちがしっかりと自分の意見を表明することができるように「質問シート」や「5 つのやくそく」を作成するなど、こどもたちの権利を保障するよう対応したことは、本取組で多くの意見を聞くことができた要因の一つではないかと考えられます。

これらのことから、こどもの意見表明権を保障するためには、①安心して発言できる環境、②意見を単に聞くだけでなく、これを受けとめ反映する、反映できないときはその理由を示すといったフィードバックを行うこと、③こどもたちの多様な状況に配慮した意見聴取の方法、が必要であると考えられます。

3. 多様性の尊重と平等な扱い

差別されない権利への関心も共通して見られました。日本語教室のこどもたちからは「差別なしに平等に守られたい」という切実な願いや、「色々な世界の人、障がいのある人が給食の時間に交流できれば良い」という多文化共生への希望が表明されました。児童養護施設のこどもたちが「ちがう肌の色をしてる子も 一緒に遊ぼう 学び合おう」「手伝い 家事 女の子がさせられることが多いよね?」といったかるたに

共感したことからも、平等な扱いへの関心の高さがうかがえます。

これらの意見は、こどもたち自身が多様性を尊重し、差別のない社会を求めていることを示しており、条例においても多様な背景や特性を持つこどもたちの権利を保障するよう対応していくことが重要であると考えられます。

4. 個別のニーズに応じた支援の必要性

各施設のこどもたちから、それぞれの状況に応じた固有のニーズもわかりました。フリースクールでは「こどもが環境を選べる権利」「自分のペースで学校生活ができれば」といった教育環境に関すること、特別支援学校では「広い公園を増やしてほしい」「開放感のある場所」といった自由な活動を望む意見、日本語教室では「先生を増やしてほしい」「クラスの人数を2人や3人に減らしてほしい」といった学習に関する支援の充実を望む意見がありました。

これらからは、個々の状況や特性に応じた支援が必要であることが考えられます。言語や文化の違い、障がいの有無、家庭環境など、様々な状況にあるこどもたちの権利を保障するよう対応していくことが重要であると考えられます。

5. 信頼関係に基づく相談環境の整備

こどもたちが困ったときに相談しやすい環境としては、「普段から話をしている人」「信頼できるから」「話しやすいから」といった回答に見られるように、日常的な信頼関係の重要性に関する意見が多くありました。また、「1対1になれるところ」「時間を作ってくれるところ」「秘密を守ってくれる」といった相談する際のプライバシーや時間的な配慮の重要性に関する意見もありました。

これらの意見は、単に相談窓口を設けるだけでなく、こどもと継続的な信頼関係を築くことのできる支援体制を構築することが必要だと考えられます。

富田林市
こどもの権利条例制定に向けた
多様な学び・生活環境にある
こどもへのヒアリング

【実施報告書】

発行：富田林市 こども未来部 こども政策課 政策係
TEL：0721-25-1000（内線 291）
FAX：0721-24-8976

発行年月：令和 7 年 3 月